

## 子どもの特性理解について

子ども発達支援センター風  
福島 翼

### 今回の内容

発達障がい(神経発達症)とは  
自閉症スペクトラム(自閉スペクトラム症)とは  
具体的な支援の方法  
まとめ

### 発達障がいとは

### 発達障がいの定義

■発達障害者支援法(平成16年制定)  
「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、  
学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するもの」

- ◆発達障がいとは脳機能の障がいの総称  
◆幼い時に発覚することが多い  
◆日常生活や社会生活に制限を受けるもの

### 発達障がいの診断基準

#### 定型発達と非定型発達

- 違い  
興味、理解や適応の仕方が違う

#### 診断基準

- ICD-11  
世界保健機関(WHO)  
「疾病及び関連保健問題の国際統計分類 第11版」
- DSM-5  
アメリカ精神医学会「精神障害の診断と統計マニュアル 第5版」

### 発達障がいの種類

- 自閉症スペクトラム(ASD)
  - ・境界線を引くことが難しい。
- 学習障がい(LD)
  - ・基本的には全般的な知的発達に遅れはない。
  - ・聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの獲得と使用に著しい困難を示す様々な状態。
- 注意欠如/多動性障がい(AD/HD)
  - ・年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力。
  - ・衝動性、多動性を特徴とする行動の障がい。
  - ・社会的な活動や学業の機能に支障をきたすもの

## 理解することの難しさ

知識や情報の不足  
特徴が目には見えない  
多様な状態像  
「違い」に気づきにくい  
子どもの立場で考えにくい

## 発達障がいと 知的障がいの違い

発達障がい  
先天性の脳機能障がい→発達に偏りがあるということ  
  
知的障がい  
知的発達の遅れの障がい(IQ70以下)  
  
◆発達障がい≠知的障がい

## 自閉症スペクトラムとは

## 3つの特徴

コミュニケーションの特徴  
社会性の特徴  
想像力の特徴(興味の偏り)

## コミュニケーションの特徴

具体的なコミュニケーションの内容  
→会話のような言葉でのやりとり  
→身振りや視線等の言葉以外でのやりとり



こういったコミュニケーション全般が苦手

## たとえば…

曖昧な言い方は意味の読み取りが苦手  
話し方に抑揚がない  
表情やジェスチャーの理解が苦手

## 社会性の特徴

他の人と相互的にやりとりする事が苦手

人とのつきあい方のルールや社会の常識が自然には身に付きにくい

## たとえば…

マイペースと思われがち  
場面の空気や雰囲気が分かりにくい  
相手の立場や気持ちが分かりにくい  
ルールを守らない、ルールに厳格

## 想像力の特徴 (興味のかたより)

活動と興味の範囲が狭い

想像力の問題

「こうかな、ああかな」と推測する力です。

この想像力がうまく働かないと、気持ちを切り替えたり融通をきかせたりがうまくできません。いつも通りが安心。

## たとえば…

応用がききにくい

いつも通りだと安心

→初めての場所では緊張

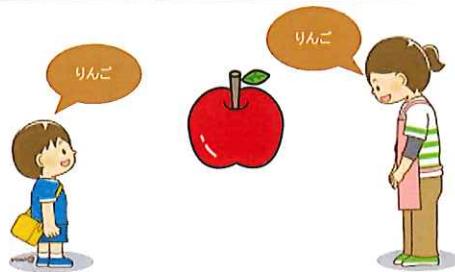
突然の事態が苦手

→トラブルや変化に対応するのが難しい

## ① 視覚的に考える

- 具体的で詳細に把握する傾向がある
- 細部を細かく見ることが得意
- 具体的なものを理解することが得意
- ことばを聞いただけではイメージしにくい
- 視覚 > 聴覚

## 百聞は一見に如かず



## ② 中枢性統合の弱さ

- ・全体をとらえることが苦手
  - ・一つ一つの情報の関連性を見つけにくい
  - ・物事を総合的にとらえる力が弱い
- ↓
- 独特な理解のし方をする

情報を集めて考えることは苦手



複数のことを同時に処理するのは苦手

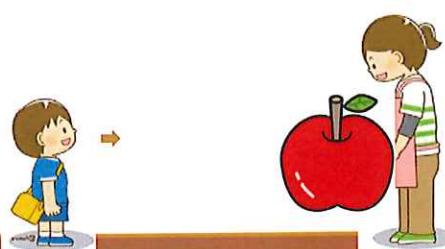


## ③ 独特の注意の向け方

情報の処理の仕方に特徴がある

- 注意の向け方がとても強く、狭い
- 細部は見ているが、それぞれの部分のつながりについては、あまり意識していない

たとえば…



何の絵ですか？



こんなふうに見えているかも…



そのため…

関連性の理解が苦手  
共同注視の難しさ  
一度に複数のことを考えるのが苦手  
時間の管理が苦手

### 関連性の理解が苦手

目に付くことにどんどん手を出してしまう  
たくさん情報がありすぎると、何に注意を向けるかが分からなくなる

### 共同注視の難しさ

指さしや双方向からの同じものを見ることができない  
何かを見たり考えたりするとき、人と一緒にすることが苦手  
視点を維持することが難しい  
いったん視点があうと、視点を動かすことが難しくなる

### ④ 実行機能の弱さ

- 計画を立て、実行するためには…
- 様々な要素を結びつけ組織化する
- 取捨選択し、優先順位をつける
- 柔軟性(途中でやめることもある)



どれも得意ではない

そのため…

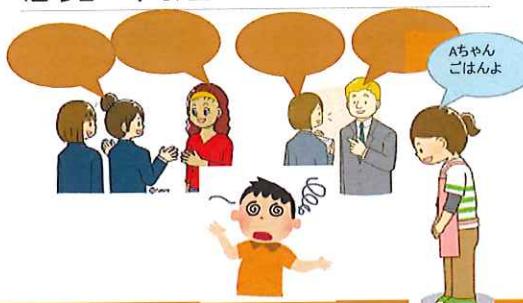


## ⑤ 感覚の問題

特定の音・光・臭い・味・肌触り・痛覚・周囲の刺激に敏感だったり、鈍感だったり

※体調が悪い時には、感覚過敏がひどくなる

## 感覚の問題



## 6、心の理論

他者に自分とは異なる考え方や感情があることが理解しにくい

## ありがちな場面



## 子どもの力を伸ばすために

特性の理解→私たちと理解の仕方が違うことを認めることが大切  
誤解を受けやすい

- ・わざとしている
- ・わざとやらない、さぼっている
- ・聞こえない振りをしている
- ・わがまま
- ・乱暴

## 違いを知る



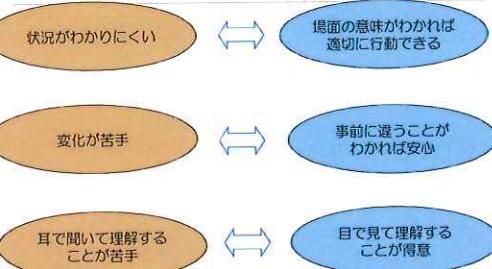
## 得意なこと

目で見て理解すること  
興味のあるものへの集中  
見たものの記憶  
細部の理解  
決まったことを守る

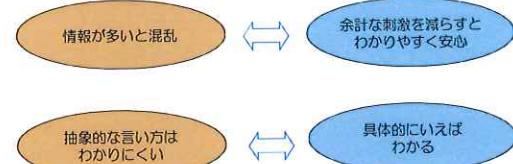
## 苦手なこと

曖昧なことはわかりにくい  
困ったときに援助を伝えにくい  
優先順位をつけることが苦手  
急な変更は苦手  
気持ちや行動の切り替えが苦手(終わりがわかりにくい)  
人とどう接していいのかわからない  
聞いたことや聞こえたことの理解

## 上手なつきあい方①



## 上手なつきあい方②



## 具体的な支援の方法

## 支援の方法のポイント

- 1、見通しの持てる環境
- 2、場所と活動の意味を一致
- 3、社会的なルールの説明
- 4、視覚的な情報で理解を助ける

## 1、見通しの持てる環境

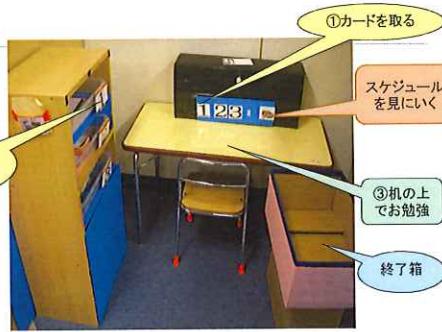
手順や日課をなるべく一定にする

初めての経験や予定の変更は事前に知らせる

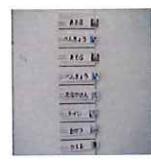
「いつ」、「どこで」、「なにを」、「どんなやりかたで」、「終わったら次になにがあるのか」を伝える

活動の終わりは明確に

## ワークシステム



## スケジュール



## スケジュール(実物)



## 2、場所と活動の意味を一致

その場に行けば活動の内容がわかるようにする

その場に関係のないものは片付ける

不安になったときは、落ち着ける場所を工夫する

## 療育の場合



・遊びエリア



・おやつエリア



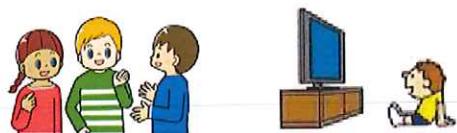
・自立課題エリア

### 3、社会的なルールの説明

その行動が良いのか(悪いのか)、いつどこでならないのか、本人にわかるように説明する  
推測は苦手。具体的にこうしたらしいですと伝える。  
不適切な行動に目を向けるより、好ましい行動に置き換える。

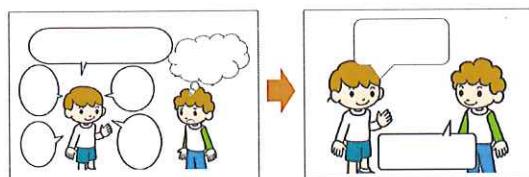
### コミュニケーションとは

表現(メッセージを伝える)  
理解(メッセージを受け取る)  
やりとり(お互いに伝えあう)  
意味を共有する



### 双方向のやり取り

3往復以上のやり取り  
会話を楽しむ→一方的になっていないか



### PECS (Picture Exchange Communication System)



### 4、視覚的な情報で理解を助ける

目で見てわかりやすい方法で伝える  
複雑な内容は、一度に指示せず、小さなステップに分けて示す  
言葉で伝えるときは曖昧な表現ではなく、具体的に、簡潔に

### 大切なことは・・・

こどもをありのままの姿で受け止める  
まわりが理解する  
こどもの特徴を知り、上手に関わる  
人との関わりを楽しめるようにする

ご清聴ありがとうございました

